

## < 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介させていただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

# ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生



## 第24回

## ゲンノショウコ類



BROAD-PETALED CRANE'S BILL  
(GERANIUM IBERICUM—var. *platypetalum*)

$\frac{2}{3}$  Nat. size

PL. 53

アメリカのコロラド州やマサチューセッツ州に自生するフウロソウ科ゼラニューム属のゲンノショウコによく似た植物です。アメリカにおいてゲンノショウコ同様に薬草として用いられた記述は見られませんが、恐らくタンニンを多く含む種とされますので、タンニン生薬であるゲンノショウコの薬効等を紐解いてみましょう。

タンニンは構造的に2つに分けられます。その一つは加水分解型のタンニンで、糖に没食子酸等がエステル結合したタイプです。もう一つは縮合型タンニンで、カテキン類が炭素-炭素結合したもので加水分解することはありません。後者の例はお茶のカテキン類がそれです。

ゲンノショウコには縮合型タンニンのゲラニンと言う代表的な成分が含まれて、「現に証拠が出る」下痢止めとして広く愛されてきましたので、センブリ、ドクダミと共に民間薬の御三家と言われ、何れも薬局方に収載されています。

1850年代ステップによる作品です。